学校番号	413

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	（文系コースのみ） 古典Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 改訂版 古典Ａ 大鏡 源氏物語 諸家の文章（第一学習社）						
副教材等	三訂版 よむナビ古文２必修編（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。わからない単語は辞書を引いてきてください。
・提出物は期限を守りましょう。

２　学習の到達目標

・作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界を楽しむこと
・古典に表れたものの見方や考え方に触れ，登場人物や作者の思いなどを想像すること。
・単語の活用について理解し，助詞や助動詞などの働きに注意すること。
・相手や目的に応じて，話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	物語(一)	教材「伊勢物語」 「大和物語」	○			◎	○	a:文章に書かれている人物の心情を的確に理解している。 d:場面に応じた登場人物の心の動きを理解している。 e:文語の決まりをよく理解している。	a、d:行動の観察と記録 e:定期考査
	物語(二)	教材「大鏡」	○			◎	○	a:文章に書かれている人物の心情を的確に理解している。 d:文章に即した理解はもちろんのこと、描かれていない場面の部分も自分なりに想像できている。 e:文語の決まりをよく理解している。	a、d:行動の観察と記録 e:定期考査
2学期	物語(三)	教材「源氏物語」	○			◎	○	a:文章に書かれている人物の心情を的確に理解している。 d:　場面に応じた登場人物の心の動きを理解している。 e:文語の決まりをよく理解している。	a、d:行動の観察と記録 e:定期考査
	物語(四)	教材「平家物語」 「とりかへばや物語」	○				○	a:文章に書かれている人物の心情を的確に理解している。 e:文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察と記録 e:定期考査
3学期	日記・評論	教材「讃岐典侍日記」 教材「源氏物語玉の小櫛」	○			◎	○	a:文章に書かれている筆者の主張を的確に理解している。 d:文章に即した理解はもちろんのこと、言葉の美しさや深さに気づいている。 e:文語の決まりをよく理解している。	a:行動の観察と記録 d:ワークシート e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」についてはすべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。